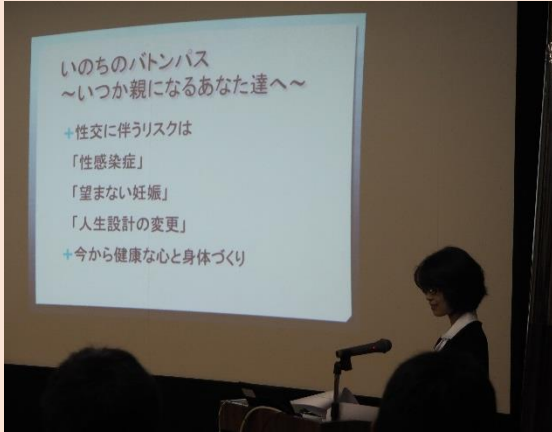


3年生 性教育講演会

弥栄病院の助産師、八十田真紀子さんから、助産師という仕事や妊娠中の胎児の様子、出産についての話を聞きました。

今、ここにいる自分は愛されて存在すること、自分の身体を大事にすることが将来愛すべき人を大切にできる第一歩だということを学びました。



助産師さんから「親からもしかすると生まなきゃ良かったと言われたことがある人がいるかもしれないが、途中で中絶等「生まない」という選択肢もあっただろうし、何も思わず妊娠を継続するほど妊娠は簡単なものではない。母親になると気持ちも変わってきて、守っていききたいなど愛情が芽生えてくる。そうやってあなた方は愛されて生まれ、たくさんの人の愛情があったから、今、ここに生きることが出来る。今度は自分がそのバトンをつなぐ人になる。」といった話がありました。

生徒の感想

- 先生の実際の体験談が一番印象に残った。みんな親に望まれて苦労して生まれてきたので、そのことを忘れないで思いやりを持って人に接したいです。
- 自分は自分だけだから、自信を持って生きたいと思った。お産の時は立ち合いたいと思います。
- 命の大切さや出産について色々知ることができた。自分もああやって生まれてきたのだと知ることができて良かった。
- もう子どもとか遠くない年頃になった今、ちゃんと考えていきたいと思った。人生が変わると言われるぐらいの出産に立ちあいたいと思った。健康で元気な子どもがたくさんほしいと思った。
- 最後の性教育で助産師さんから話を聞いて良かった。お産の状況とかもよくわかって、これから役立つと思えた。
- クラミジア感染は一度の薬で治る病気だとわかったから検査する人が増えて、感染者が減るといいなと思った。先生達の話もためになった。自分も将来、出産することになったら、相手の人に立ちあってもらいたいと思った。

